

令和3年度第5回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

令和3年度第5回社会教育委員会議事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面及びオンラインで意見交換する会議とした。

1 会議の流れ

- 資料送付 令和4年2月18日（金）
- オンライン会議の実施 令和4年2月24日（木）午後2時～3時30分
→協議事項についての意見交換
- 委員からの意見提出期限 令和4年3月7日（月）
→報告事項及び協議事項についての意見提出
- 議事録案作成 令和4年3月18日（金）
- 議事録案確認・確定 令和4年3月29日（火）

2 出席者

【書面会議】

（委員）

藤田委員長、鳥居副委員長、山崎委員、石川委員、大塚委員、田中委員、
對馬委員、工藤委員、淵野委員、室井委員、坂本委員

【オンライン会議】

（委員）

藤田委員長、鳥居副委員長、山崎委員、大塚委員、對馬委員、工藤委員、
淵野委員、室井委員、坂本委員

（事務局）

生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長、教育政策課長、教育政
策課教育政策係（1名）、生涯学習課生涯学習係（3名）

3 傍聴人（オンライン会議） 1人

4 議題

（1）報告事項【書面会議】

- 1) 令和3年度浦安市成人式開催結果
- 2) 令和3年度第2回浦安市文化財審議会議事録
- 3) 令和3年度第2回図書館協議会議事録
- 4) 令和3年度第3回公民館運営審議会議事録
- 5) 社会教育関係行事案内

（2）協議事項【オンライン・書面会議】

- 1) 提言について

※報告事項については、資料に基づき、委員から提出された意見・質問に
対して書面で回答を行った。内容は別添のとおり。

※協議事項については、提言に関する説明と質疑、意見交換をオンライン
会議で行い、併せて書面で意見提出を行った。内容は別添のとおり

(別添)

令和3年度第5回定例社会教育委員会 意見・質問及び回答一覧

(1) 報告事項【書面会議】

- 1) 令和3年度浦安市成人式開催結果・・・・・・・・・・ P 1
- 2) 令和3年度第2回浦安市文化財審議会議事録・・ P 1～P 2
- 3) 令和3年度第2回図書館協議会議事録・・・・・・・・ P 2～P 3
- 4) 令和3年度第3回公民館運営審議会議事録・・ P 3～P 4
- 5) 社会教育関係行事案内・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4

(2) 協議事項【オンライン会議及び書面会議】

- 1) 提言について
 - 【オンライン会議】・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
 - 【書面会議】・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9

(1) 報告事項【書面会議】

報告事項	ご意見	回答
<p>1) 令和3年度浦安市成人式開催結果</p>	<p>実行委員や新成人の熱意により新型コロナウイルス感染拡大という困難な状況下で開催できたことは幸いであった。過去最高の参加率に成果が現れている。</p>	
	<p>実施にあたり実行委員会、事務局等きめ細かに配慮していたことが良く理解できた。成人式を実施できた事に安堵した。</p>	
	<p>昨年度の時間設定の部分が改善され、参加者の満足度が大幅にアップしたと思われる。</p>	
	<p>コロナ禍の厳しい状況の下、成人式が無事執り行われ、素晴らしいと思う。浦安市が誇る成人主体の成人式の伝統が受け継がれていくことが喜ばしい。</p>	
	<p>出席率がさらに3ポイント向上している(過去最高)成人式の企画・運営プロセス自体が浦安市独自の社会教育活動の好例、成功例、モデル事例になっている。さらに充実して継続発展を期待する。</p>	
<p>2) 令和3年度第2回浦安市文化財審議会議事録</p>	<p>旧醍醐家茶室の文化財指定、浦安の舟大工技術の文化財指定の解除は残念である。この解除に関する、市民への報告責任の在り方について伺いたい。</p>	<p>【郷土博物館】 市文化財指定の解除については、文化財保護条例に基づき、教育委員会会議での審議と文化財審議会による諮問・答申を経て行うこととされています。今回、解除に至った委員からのご意見を議事録としてまとめ、公開しています。</p>
	<p>浦安の舟大工技術の文化財が解除されたが、今後、技術をいかに継承していくのかを、市民に広く募ることも視野に入れてはどうか。</p>	<p>【郷土博物館】 浦安の舟大工は、浦安の漁業に適した独特の船を造っていたと言われており、元舟大工がいなくなった現在、その独自の技術を引き続き継承していくことが困難となりました。元舟大工の技術は映像として記しており、また、浦安の船や船大工道具の展示や、浦安舟大工技術保存会の元会員などを中心に船の模型づくり体験などを行っていく中で、博物館ボランティアの発掘、育成に取り組んでまいります。</p>

2) 令和3年度第2回浦安市文化財審議会議事録	浦安市の文化財について、小学校ではコロナ感染症の発生前は、町探検を行ったり、郷土博物館での学習など多くを学ぶ機会があるが、中学校ではあまり学ぶ機会がないことから、学ぶ機会をつくることで、ふるさと浦安に対する意識を高めることがあるのではないか。	【郷土博物館】 中学生は、2年生社会科「地域学習」と、「ふるさと浦安作品展」へ向けた作品作りをリンクさせ、郷土学習に取り組んでいるところです。中学校は教科担任制で学習を行っており、カリキュラム上博物館へ来館しての学習は難しい状況です。
	浦安市の保有文化財（寺社など）のリストや写真を見るには博物館へ行けば知ることができるのか。また、他に知る方法はあるのか。	【郷土博物館】 浦安市の文化財の紹介については、市ホームページの市政情報に指定文化財のリストを載せており、確認することができます。また、文化財めぐりにご活用いただけるよう、解説書の刊行のほか、市内文化財の位置や内容（一部写真入り）などを紹介する文化財マップを作成し、郷土博物館のミュージアムショップで販売しています。
	文化財を指定する時は、先を見通した上で検討することが重要であること、無形文化財の継承にあたっては、技術に精通した人が現在の浦安に存在していない事が大きく関与している事等への認識を新たにしました。	
	文化財指定解除について委員の活発な意見交換の様子、状況等が良くわかった。	
3) 令和3年度第2回図書館協議会議事録	中・高校生や大学生の不読率が高いことは憂慮すべきことである。スマートフォンやパソコン等IT機器によって情報を手軽に得ることが優先されている昨今は致し方ないだけに、電子書籍等の更なる充実を図って頂きたい。	【中央図書館】 電子書籍の導入については、Uモニアンケート（浦安市市政モニター制度）や導入館への調査により現状把握及び課題整理を行うとともに、導入の方向性について令和3、4年度の図書館協議会で協議を諮っています。導入については課題も多いことから、慎重に検討していきたいと思えます。
	中学生から大学生の図書館利用を増やすために、市内の学校司書及び司書教諭との意見交換を行ってはどうか。	【中央図書館】 ・指導課が主催する小中学校司書の研修会に参加し、新規事業の説明や図書館の利用促進のための広報依頼等を行っています。また、高等学校については、学校司書等との意見交換の機会を検討していきます。今後も引き続き、生徒の図書館利用の促進のため、学校図書館との連携を強化していきます。 ・明海大学とはメディアセンター（図書館）職員との定期的な担当者会議において意見交換を図っていきます。そのほか、市内各大学の入学者に対し、図書館司書が選んだ推薦図書に掲載した市立図書館の利用案内を配布し、利用の促進を図ってまいります。

<p>3) 令和3年度第2回図書館協議会議事録</p>	<p>令和3年度の「本を探そう～図書館利用講座」、「名作映画鑑賞会」、「おはなし会」の現況を伺いたい。</p>	<p>【中央図書館】 （緊急事態宣言発令等により、8～10月、2～3月は中止）「本を探そう～図書館利用講座」内容パソコンやスマートフォンの初心者を対象に、図書館の検索システム（WEB-OPAC）を活用して資料の探し方等を案内するものです。参加者は高齢者が多く、少人数制で、職員がきめ細やかにサポートすることから、概ね好評です。・開催日 毎月第1金曜日・開催回数 7回・参加人数 13名・定員4名 事前予約制「名作映画鑑賞会」内容 映画作品で名作といわれる作品の上映会。幅広い年代層の市民の参加が見られ、事前申込制でも毎回30名以上の申込みがあります。・開催日 毎月第2土曜日・日曜日・開催回数 14回・参加人数 507名*1回平均の入場者数は36名。 （新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の定員100名から50名に減じ、事前申込制とした。）「おはなし会」内容 5歳～小学生を対象とした、昔話等のストーリーテリングや絵本のよみきかせ。参加する子どもたちは、5歳から小学校3、4年生が多い。・開催日 毎月第3土曜日・開催回数 8回・参加人数 32名（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の定員30名から10名に減じた。）</p>
<p>4) 令和3年度第3回公民館運営審議会</p>	<p>令和3年度第3回公民館運営審議会議事録の3ページの4番目が「委員」の発言となっているが、「事務局」ではないのか。</p>	<p>【高洲公民館】 ご指摘のとおり当該部分は事務局の発言の誤りです。訂正しました。</p>
	<p>最近公民館利用者数の減少が顕著で、市民の公民館離れが心配である。公民館利用者層の新聞購読率は高いと思う。ルネサンスの新聞折り込の廃止は残念である。代替として、広報うらやすへの掲載について、再度検討していただきたい。</p>	<p>【高洲公民館】 広報うらやす令和4年4月1日号より、「公民館情報紙ルネサンス」及び「公民館主催事業のお知らせ」の発行をお知らせする記事を掲載する予定です。</p>
	<p>長引くコロナ禍の中、公民館はリアル（生）交流・対話の場として貴重である。魅力ある講座やサークル、心温まるミニコンサートなどを引き続き企画してほしい。 例えば、「駅ピアノ」のように自由にピアノが弾ける空間をつくるなど。</p>	<p>【高洲公民館】 令和4年度の事業についても引き続き、「浦安市公民館運営方針」の「主催事業の基本体系」に基づき実施していく予定です。また、新型コロナウイルスの感染症の状況を踏まえつつ、公民館本来の姿である「つどい・まなび・つながる」場としての運営を行っていく予定です。</p>

4) 令和3年度第 3回公民館運 営審議会	「行政の部署とサービスを受 ける市民と一緒に地域をよく しようとする事業は良いこと だと思う」に共感した。	【高洲公民館】今後も、地域の課題などに関する 学習を公民館と市の関連部署が連携し行っていく 予定です。
	中央公民館の主催事業に20数 名で参加した。内容の充実、 年代にあつた事業展開等、実の ある講座に参加でき、参加者 は喜んでた。コロナ禍で、 その後の事業に参加できなく なつた事は大変残念である。	【中央公民館】 新型コロナウイルス感染症の状況により制限され ることも多々ありますが、オンラインでの事業を 取り入れるなど、今後もできる限りの工夫をしな がら幅広い世代を対象とした事業を行つていく予 定です。
5) 社会教育関係 行事案内	意見・質問等なし	

(2) 協議事項【オンライン会議】

1) 提言について

前回の会議で提言のテーマの候補の一つとして挙げられた「浦安型コミュニティスクール」について、事務局より説明を行った。委員からの主な意見・質問等は以下のとおり。

- | | |
|-----|---|
| 委員 | 「コミュニティスクール」で学校運営協議会になった場合の参加人数を伺いたい。 |
| 事務局 | 他の自治体を調査すると、人数、規模については、自治体ごとで違う。「浦安型コミュニティスクール」は設置要綱から10名前後としている。検証校である日の出中学校は10名を予定しているが、中学校の周辺は自治会が多くあるので、10名以上になる可能性もある。今後、参加人数についても、検証していく。 |
| 委員 | PTA 運営委員会、学校評議員、学校関係者評価委員会などの団体と合同会議を行うが、各団体が一緒に行うことで、認識の違いの混乱がおきないのか。保護者などに対して、「コミュニティスクール」の共通認識を図るうえで、どのように周知していくのか |
| 事務局 | 合同会議と比較すると、「コミュニティスクール」は既存の学校評議員会議の形式が似ている。学校評議員会議の制度は努力義務であるが、全小中学校に設置されている。学校評議員は、地域の有識者、保護者の代表などに、教育委員会が任命し、各校長の求めに応じて意見を述べる。学校評議員制度を無くしている自治体がほとんどである。「浦安型コミュニティスクール」でも合同会議を設置した段階で、学校長と協議し、学校評議員の制度というものは残すのか、無くすのかを検討する。検証校となる小中学校に、違いなどを説明し検討課題としたい。学校評議員については、所管課の教育委員会学務課と協議しているところである。今後、学校評議員会議を無くすこととした場合の課題などの協議を重ね、課題を解決しながら合同会議をスタートしたい。 |
| 委員長 | 合同会議での議長の任命はどのように決めるのか。地域学校協働活動推進員(学校支援コーディネーター)を含めた合同会議の運営については、教育委員会のバックアップはあるのか。2つの小中学校が検証校となっているが、合同会議 |

事務局

は全小中学校に設置させるのか。提案として、学校運営協議会に公民館長を任命していただきたい。

設置要綱には誰が議長になるかは規定されていないため、合同会議内で決めることとしている。学校運営に関わるので、当初は校長や教育委員会が協議で決めると考えている。また、地域学校協働活動推進員（学校支援コーディネーター）を含めた合同会議へのバックアップだが、学校運営協議会に類似している学校評議会を参考にすると、学校評議会は学校独自で行っており、基本的に地域学校協働活動推進員が入っていないことから、当初の伴走支援は教育委員会が行うが、徐々に任せていくことが適切かと思う。ただし、伴走支援については、近隣市の実態も踏まえながら検証して行っていきたい。

合同会議の全小中学校への配置については、検証校において最初の2年間は検証期間となり、3年目に全小中学校に移行していくための準備を行い、令和7年度から適宜、設置を予定している。同時に2つの検証校は、「コミュニティスクール」に移行することを予定している。

また、合同会議での、公民館長の任命は考えている。

委員

コミュニティスクールは、教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べるができるということだが、先行している自治体では、実際はどのように行われているのか。

教職員の任用への意見とは、単なる教職員の異動などの個別の意見ではなく、例えば、地域との懸け橋となる教師を配置させてほしい、などの意見となる。先行している市川市では、委員に予め説明していることから、混乱はないと報告を受けている。「浦安型コミュニティスクール」では、教職員の人事任命についての協議事項は含まれていない。

「コミュニティスクール」に移行する場合は、事前に説明を行い、進めていきたい。

副委員長

提言のテーマ案として「コミュニティスクール」が挙がっていたわけだが、説明を聞いて、今期の提言のテーマにすることは時期尚早だと思った。また、コミュニティスクールを導入することで、先生方の事務量が増えるのではないのかと思うがどうなのか。

委員

同じく、現在「浦安型コミュニティスクール」は「コミュ

ニティスクール」への検証期間であることがわかったので、今期のテーマで取り上げなくてもよいと思った。

委員長 部活動支援について、提言案には取り上げていないが、合同会議等で検討課題としているかどうか、伺いたい。

事務局 検討課題になることは十分可能性がある。議題となる場合は部活動の所管課である保健体育安全課と確認をとりながら進めていきたい。また、副委員長から質問のあった「コミュニティスクール」による教師の事務量の増大に関しては、どの自治体もスタート時点は大変だが、先行しているところは、教師の業務量軽減の報告もあり、本市も同様に業務量軽減などのメリットが得られるようにしていきたい。

委員 コミュニティスクールを導入している学校は全国で3割程度とのことだが、全国でコミュニティスクールの先進自治体はどこか。

事務局 近隣市では、市川市教育委員会に「コミュニティスクール」専門の部署があり、全小中学校に導入されている。三鷹市は、幼稚園も含めコミュニティスクールが設置されている。県レベルで導入を進めているのは、山口県である。

委員 良い事例を検証期間で一般市民も含めて紹介すれば、コミュニティスクールの理解が進むと思う。例えば、私自身、「木に親しむ会」のボランティアメンバーとして、美浜南小学校で、毎年、特別授業として学校支援コーディネーターと小学3、4年生の子どもたちと一緒に、校内の樹木に名札を張り付けることを行っている。活動を通じて、子どもたちは木の名前を覚え、自然を大事にすることにつながっている。このように、他の市民ボランティアの具体例をコミュニティスクールの検証期間に取り入れれば成果につながるのではないかと思う。

委員 前回、提言のテーマ案として「生涯学習とSDGs」が挙げられていたが、改めて考えると、SDGsは、他のテーマ案の様々な視点を含んでいるので、私もこれが良いと思った。

委員 私は、学校の部活動が縮小される中、地域の人やボランティアとどう関わっていったらよいかを考える提言がよい。

委員 先生方の働き方改革にともなって、部活動の時間が減少している。コミュニティスクールの合同会議を利用して、先

生方の働き方を支援していただきたい。また、部活動の時間が多く減ったので、これからは充実した教育的な部活動ができればよい。

委員

マスクが外せない状況で子どもたちのストレスが止められない状況である。部活動の継続のために地域の人と方策を考えたい。子どもたちの意欲を失わせないようにしたい。

副委員長

一般社団法人浦安市スポーツ協会で、小中学校の部活動の支援をどうしたらよいのか、現在保健体育安全課と協議を行っている。美浜北小学校、明海小学校のサッカー部で支援活動を行っており、令和4年4月から日の出小学校も始まる予定である。

委員長

提言に関する意見については、この後3月7日までに事務局宛に書面提出をお願いする。提出された意見をもとに次回の会議までに、副委員長と検討し、再度提案する。

(2) 協議事項

1) 提言について【書面会議】 協議事項についての主な意見は、以下のとおり

No.	ご意見
1	「生涯学習・スポーツとSDGs」 事業の見直しと、ありたい姿の共有が大切かと思う。
2	「生涯学習とSDGs」または、「SDGsの視点から生涯学習を考える」等にしたい。各委員のテーマ案は、それぞれ「生涯学習とSDGs」とリンクしているので、これをテーマにした場合、多角的に深まる議論が期待されるのではないか。
3	「社会教育とボランティア」 登録ボランティアの皆さんが活躍できる場所の提供等も整理し、浦安市の豊富な人材を埋もれさせないためにも、指導者となりうるボランティアの方々に次世代のボランティアづくりに貢献いただきたいと思う。
4	まだまだコロナの影響が続く状況の中、「人とつながる」のテーマを、他のテーマと融合させたい。
5	「浦安市の生涯学習の現状と未来【続】～With Corona & After Corona 2～」 令和3年6月に提出した提言以降も、新型コロナウイルス感染拡大の収束の見通しがつかない状況にある。前記提言以降の、生涯学習施設等の運営状況及び、課題について調査し、その支援策について研究し、提言としてまとめたい。
6	コロナ禍の状況で変わらず不透明な事態なので、前回の提言「浦安市の生涯学習の現状と未来」をフォローするのが良いと思う。
7	「社会教育」の視点から特定事業（3つぐらいに絞る）を見直し、改善して実践するものとしてほしい。
8	大人たちに求めるシティズンシップとは何かを整理するとともに、大人たちにシティズンシップを感じてもらおう仕組みを整理し、市民にパンフレットの形で広く知ってもらおうというのはいかか。パンフレットは小中学生にも配ってもらえると「大人たちもこんなに地域貢献しているんだ」ということが分かり、それなら自分も、という気持ちになるのではないか。
9	コロナ禍により、より多様なことが求められている現状から、SDGs、ICT教育、コロナ禍で途絶えた人とのつながり、地域とのつながりについて、今一度時代に合ったものを考えてほしい。
10	コロナ禍における学校教育は、先の見えない中で創意工夫しながら取り組んでいる。いろいろな市民の皆様の活動も制約があったり、中止になったりしているところと思う。どのようなテーマになるとしても、コロナ感染症の対応も含めた内容が必要と思う。
11	浦安型コミュニティスクールは、検証期であるため、提言のテーマに取り入れるのは、まだ早いと思った。
12	浦安型コミュニティスクールについては、将来的な視点で定点観察をし、時代を考慮の上、提言していきたい。